※令和４年度以降入学生用

学校番号	324

令和８年度　情報科

教科	情報	科目	情報Ⅰ	単位数	１単位	年次	１年次
使用教科書	高校情報Ⅰ　新訂版（実教出版）						
副教材等	ライフイズテックレッスン情報Ⅰ　全対応コース・AI ドリル						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・情報社会が進展している中で、人のかかわり方や社会のあり方がどのように変わっていき、それに対してどのような知識を身につければいいか考える力を身につけましょう。
・コンピュータやネットワークを利用したコミュニケーションについて、演習等を通して考え、グループワークを通して多様な考え方を学び、自分の考えを持ちましょう。

2　学習の到達目標

情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ，情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し，情報社会に主体的に参画するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)　情報と情報技術及びこれらを活用して問題を発見・解決する方法について理解を深め技能を習得するとともに，情報社会と人との関わりについての理解を深めるようにする。

(2)　様々な事象を情報とその結び付きとして捉え，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。

(3)　情報と情報技術を適切に活用するとともに，情報社会に主体的に参画する態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	効果的なコミュニケーションの実現，コンピュータやデータの活用について理解し，技能を身に付けているとともに，情報社会と人とのかかわりについて理解している。	事象を情報とその結び付きの視点から捉え，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	情報社会との関わりについて考えながら，問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し，自ら評価し改善しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	第1章情報社会と私たち	1節 情報社会 2節 情報社会の法規と権利 3節 情報技術が築く新しい社会	a: よりよい情報社会を構築するための考え方や工夫について理解している。 b:情報と情報技術を適切かつ効果的に活用して問題を発見・解決することができる。 c:情報社会において個人の果たす役割や責任，情報モラルなどについて，それらの背景を科学的に捉えようとしている。	授業観察 学習ノート	授業観察 ワークシート 学習ノート	授業観察 学習ノート
	第2章　メディアと情報デザイン	1節 メディアとコミュニケーション 2節 情報デザイン 3節 情報デザインの実践	a:効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方や方法を理解し表現する技能を身に付けている。 b:効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方や方法に基づいて表現している。 c:問題を解決するために，知的財産を適切に活用し，主体的に創作活動の参画しようとしている。	授業観察 学習ノート	授業観察 学習ノート	授業観察 学習ノート
	第3章システムとデジタル化	1節 情報システムの構成 2節 情報のデジタル化	a:プレゼンテーションソフトを用いてわかりやすいスライド資料を作成し，適切かつ効果的にプレゼンテーションを行う技能を身に付けている b:数値・文字の情報を目的に応じて適切にデジタル表現できる。 c:数値・文字・音声・画像などのデジタル化された情報を，主体的かつ適切に扱おうとしている。	授業観察 学習ノート 課題提出	授業観察 学習ノート 課題提出	授業観察 学習ノート 課題提出

※令和４年度以降入学生用

後期	第4章 ネットワークとセキュリティ	1 節 情報通信ネットワーク 2 節 情報セキュリティ	a:Webページとメールの仕組みについて理解している。 b:目的や状況に応じて，情報通信ネットワークにおける必要な構成要素を選択するとともに情報セキュリティを確保することができる。 c:マルウェアやサイバー犯罪の被害にあわないように，リスクを軽減するための対策を継続して行おうとしている。	授業観察 学習ノート	授業観察 学習ノート ワークシート	授業観察 学習ノート
	第5章**問題解決とその方法**	1 節 問題解決 2 節 データの活用 3 節 モデル化 4 節 シミュレーション	a: 問題解決の評価の方法を理解している。 b: 問題の解決策を検討するために，情報の収集・整理することができる。 c:主体的に問題解決に取り組み貢献しよ」うとしている。	授業観察 課題提出	授業観察 課題提出	授業観察 学習ノート
	第6章アルゴリズムとプログラミング	1 節 プログラミングの方法 2 節 プログラミングの実践	a:アルゴリズムを表現する手段，プログラミングによってコンピュータや情報通信ネットワークを活用する方法について理解し技能を身に付けている。 b:目的に応じたアルゴリズムを考え適切な方法で表現し，プログラミングによりコンピュータや情報通信ネットワークを活用することができる。 c:関数の定義・使用によりプログラムの構造を整理するとともに，性能を改善しようとする。	授業観察 ソースコードや実行結果	授業観察 ソースコードや実行結果	授業観察 学習ノート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度